

○3月24日開催 第3058回 単独例会

第53回六甲全山縦走大会

旗振支部 Y.H

今年の全縦大会は、またとない好天気。出発時気温 11℃、北寄りの風、少し肌寒く感じられるのが良い。今年も私の役割は、コース誘導員(兼ペースメーカー)として宝塚塩尾寺下ゴール着 18時30分を目指す。

その認識をもって何時もより早めに、目覚ましを4時20分にセットし就眠。がどうしたことだろう、何時も目覚ましの鳴る前に目が覚めるのに、ぐっすり寝込んで起きたのは5時9分。それから戦争。洗顔、歯磨き、昨夜、作っておいたおにぎり、着替えなどリックに詰め込み、家を飛び出したのが5時20分。バイクに跨り塩屋駅着5時半。

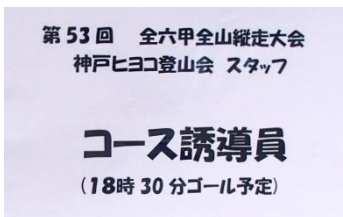
あ～良かった
何とか間に合
って・・・。

西行の電車
着5時31分な
ので初めから5
時45分出発を
予定して。



塩屋駅出発風景

この時、大事なものを忘れていたことに気づく、山行に欠かせないデジカメ。既に出発された方もあったが、18時30分ゴール予定と背に貼つけてる私に同行される方が10名ほど。



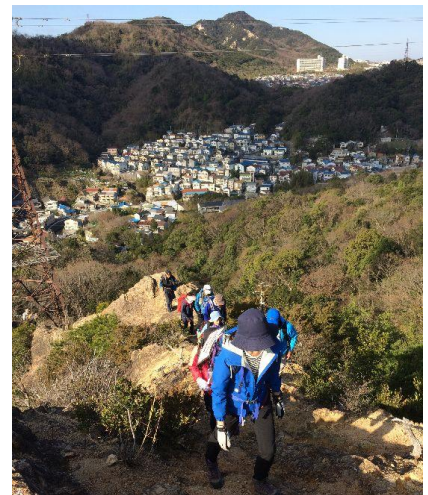
皆さんの足取りに注意しながら、まず初めの休憩ポイント旗振山、出発時は寒いぐらいだったのでつい厚着になりがち、ここで衣服を整える。梅尾山、横尾山は皆さん良く慣れ親しんだ道、なんの問題もなくクリアー。続く須磨アルプスは縦走路一番の景勝地、足元注意ではいポーズ。



青空と須磨アルプス

須磨アルプス越えの東山から高取山間が他の大会と違うヒヨコ独自のコース。塩屋駅～旗振山、東山～高取山のコースは、ヒヨコの先人たちが切り開いた道ヒヨコ道。

六甲全山縦走路の内、西半分は独立峰が多く、各山とも登るに難渋を極める。その中でも菊水山とこの禅昌寺から高取山へ登る禅昌寺尾根コースは、何時登っても骨が折れる。



気力振り絞って登る禅昌寺尾根

高取山着8時40分。出発から約3時間、全行程のまだまだ1/4。ここで朝ごはん食べてないのに気づきおにぎり1個。次行程への気力を養って。

高取山を下ると丸山の市街地、ちょっと一息といったところだが、初めてのころはこの市街地の道も急坂に思えた。この先が前半戦の難所、菊水山の登り。近年は、コースも整備され登りやすく

なったが、その昔は鎖場ありの難所。私にとっては菊水山麓から山頂まで何分かかかるかが体力のパロメータ。

今回は 18 分でますます。この辺りになって晴れていた空に時折雲が。



菊水山まで同行の方々

菊水山(着 10 時 28 分)で小休止。次の鍋蓋山も菊水山に連続して険しい登りで顎が出そう。でもまだまだ全行程の半分も来ていないのでここでの弱音は禁物。鍋蓋山で神戸市元町近辺の真北。当たる。市街地を見ながら小休止の後、大龍寺山門(通称赤門)の第2チェックポイント着(11 時 46 分)。



ここを通過後、15 分ほどで市ケ原。市ケ原は、一般に縦走路の半分と言われている。また、新神戸駅から近いことから多くの方がハイキングや BBQ を楽しむところとして親しまれている。丁度、12 時に差し掛かり、おにぎりタイム、でも休憩時間は10分間。

腹ごしらえを済ませたら、ここからが今日の正念場の天狗道!! 三座を超え、四座目が摩耶山掬星台。途中、

学校林道への分岐で一休みするのが常道。掬星台着(13 時 28 分)



掬星台到着は、距離的には中間地点を少し越えた

ぐらいたが、しんどさから判断すると優に 2/3 越えている。

ここまでくれば後はもう大丈夫と経験者は皆言うが、大分体力を消耗してきているので僅かな登りでもフーと気力を入れなおす。下の絵は、六甲ドライブウェーと合流する三国池下の四阿皆さんお疲れモード。



三国池下 14 時 25 分着

この後、もう急な登りはなく快適な道のりのはず。気力は充実しているのに体はクタクタ。だんだん皆さんの会話が少なくなってくる。3 番目のチェックポイント記念碑台下(14 時 52 分着)係の方にチェックしていただいている簡に、デジカメの代わりに写真を撮っていたスマホの電力も使い果たしてしまった。以降の写真が撮れなくなってしまいこの報告文の正確性が証明できないのが残念。



記念碑台下のチェックポイント風景

この後、縦走路とドライブウェーが交錯しながら進むので、自動車やバイクに注意しながらの走行となる。最終のチェックポイントの一軒茶屋の通過(16 時 5 分)。私の予定した時刻より10分ほど遅いがゴール着予定通り行けると確信。それに今回私に同行された8名の方々は皆さん健脚揃い。弱音の感じられない方々ばかり。それに何とか明るいうちにゴールしたいとの意思の強さを感じられた。

神戸市主催の縦走開催時期は、11 月なので日の入りが早く17 時になると真っ暗。でもこの大

会では、18時30分までは十分明るいのが嬉しい。背中の看板宣言通りゴールしたのが18時28分。ヒヨコの大会関係者の皆さんのお陰でスムーズな運営、楽しく参加できたことに感謝します。

これからの六甲は、絶好の山歩きシーズンです。

万緑や六甲全山吾を待つ

皆さん六甲で会いましょう。